

大阪万博は世界最大の観光市場への玄関口

－ ハンガリー・パビリオンが東京で紹介されました －

161 国と 9 つの国際機関が参加する次回の国際博覧会は、2025 年 4 月 13 日から 10 月 13 日まで大阪で開催されます。主に日本、そして韓国や中国を含む東アジア地域から約 2,800 万人の来場者が見込まれています。これらの国々は世界最大の観光市場でもあるため、この地域からのハンガリーへのインバウンド観光の大幅な増加が期待されます。観光の活性化に加え、外交およびビジネス関係や投資の強化もハンガリー・パビリオンの大きな目的です。ハンガリーは中央ヨーロッパにおける日本の最も重要な経済パートナーの一つであり、昨年ハンガリーへの投資が最も多かったのは、東アジア地域からでした。ハンガリー・パビリオンの狙いは、ハンガリーの知名度アップはもちろん、多くのハンガリー企業にビジネス開拓が可能となり、ネットワーク構築の機会を得ることでもあります。

万博は経済、文化そして観光に最も大きな影響を与える世界三大イベントの一つです。数千万人の来場者に加え、ハンガリー・パビリオンやハンガリーの文化、美食に関するコンテンツは、プレスやソーシャルメディアの報道を通じて、さらに多くの人々の目に触れることになるでしょう。これにより、ハンガリーの観光市場における地位の大幅な向上と、自国のイメージアップも期待できます。経済的協力の促進を含め、万博後に東アジア地域からより多くの観光客を迎えることも大きな目標です。ハンガリー観光データセンターによると、当地域からの昨年の来客数は約 30 万 9 千人で宿泊数は約 90 万 5 千泊でした。2022 年と比較して訪問者の増加は中国からは 4 倍、韓国からは 3 倍、日本からは 2 倍でした。

「万博開催と同時期に大阪でハンガリーの在外公館が開設されるため、万博への参加は特に重要であり、両国間の長年の交流がより一層深まることになるでしょう。」こう語るのは在日ハンガリー大使、オルネル＝バーリン・アンナ氏です。「アジア企業はハンガリー経済の成長において重要な役割を担っており、万博は国内の中小企業の国際市場への参入を支援し、ハンガリー企業の二国間および多国間の経済関係を強化する効果ももたらすでしょう。ハンガリーから日本への輸出が大幅に増加傾向にあり、昨年はすでに 10 憶ドルに達しております」ということも記者発表会のご挨拶で述べられています。

EXPO 2025 ハンガリーの代表取締役であるクリシュト・アコシ氏は、東京の記者発表会で、大阪万博への参加はハンガリーにとって、またとないチャンスであると述べました。万博には約 2800 万人の来場者が見込まれています。会場内を散策する際、ほとんどの方がハンガリー・パビリオンの前を通ることになります。そのユニークな外観を見て、きっと興味を持っていただけるはずです。最終的に

約 100 万人の方々のパビリオン見学が可能です。ハンガリーのイメージアップに加え、万博の主な目的は東アジア地域諸国との経済協力を促進することです。日本はハンガリーにとって極めて重要な経済パートナーです。ハンガリーには 180 社以上の日本企業が進出しており、その資本投資額は 32 億ユーロ、従業員数は約 32,000 人と推定されています。

「当パビリオンはハンガリーの経済と国のイメージ作りに貢献できるように設計されています。ハンガリーは独自のパビリオンで万博に参加し、様々なエリアで構成されています。地上三階の建物の中には、100m²のビジネスフロアを設けています。パビリオンではハンガリーの食文化を紹介したく、二階のレストランでは伝統的なハンガリー料理を、隣にあるワインバーではハンガリー各地からのワインをお召し上がりいただけます。展示エリアの最後に売店があり、お土産品やハンガリーの民芸品等を購入できます。ハンガリーの様々な製品を紹介することは、これらの製品の日本市場への参入にも繋がるでしょう。」とクリシュト氏が説明しています。

「パビリオンでは、ハンガリー経済の根幹である小中企業に、東アジア地域にアピールできる機会を提供します。建物の三階にはビジネスエリアを設けています。ハンガリーと海外企業らが会議、ワークショップ、商談などができるスペースとなっており、万博開催期間中の 6 ヶ月間、このような経済活動を数百回企画しています。」とクリシュト・アコシ氏が主張しています。ハンガリーは中央ヨーロッパにおける日本の極めて重要な経済パートナーであり、ハンガリーにとってアジア市場への玄関口であることも指摘しています。

大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会」です。未来を思い描くときは過去を知り、それを尊重することは欠かせないと考えていますので、パビリオンの中心のテーマとして選んだのは、ハンガリーの文化の大切な一部である民族音楽です。「民謡にはハンガリー人の価値観や豊かな自然が表現されており、ハンガリー人の国民性そのものが映し出されています。民謡から着想を得たデザインの空間を散策しながら、ハンガリーの美しい自然を知り、民謡から響いてくる自国への愛着を感じ取っていただけます。一般的な情報提供のみならず、音楽の生演奏も体験できます。」

ハンガリー・パビリオンの最大の魅力は没入型のシアタースペースであり、自然とハンガリーを身近に感じていただける体験ができます。万博期間中、184 日間、毎日 10 時間、いつでも生演奏をお楽しみいただけます。ハンガリー館のデザイン自体も注目の的となるでしょう。パビリオンの建築コンセプトは、日本とハンガリーの民俗建築に見られる自然素材や工法から着想を得ています。自然との繋がり、人間と風景の関係は両国の文化に根強く存在しており、ハンガリー・パビリオンでは建築と自然が一体となっております。来場者はハンガリーの草原の植物、色と香りに囲まれた空間から建物の

中に入り、民族音楽を紹介する展示エリアを通り抜けると、巨大なドームにたどり着きます。民謡の生演奏はそこでお楽しみいただけます。

「開催期間中の半年間、万博会場内の様々なスポットで 50 以上の民族音楽、クラシック、ポップスや文化等のイベントを企画しており、多様なハンガリー文化に触れていただけます。」

来年の国際博覧会へのハンガリーの出展は、東アジア地域諸国とのビジネス関係や投資の強化に貢献し、ハンガリー企業にビジネス展開や新市場開拓の絶好の機会を提供すると同時に、ハンガリーの知名度を上げることで、同地域からの観光客やビジネス関連のインバウンドの増加にもつながるでしょう。

東京、2024 年 10 月 28 日